

令和5年度 事業者向け 児童発達支援自己評価表 (チルハピスポーツ富沢教室)

5名配布5名分回収

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している点等	今後の改善点
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			・運動できるスペースを確保できている。	
	②	職員の配置数は適切であるか	5				・子どもの特性を見て必要に応じて配置を検討します。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	1		・全サイズの車いすがトイレ等に入れるのか不明。 ・段差をなくし誰でも過ごしやすい環境を作る。 ・物品を出したままにせず必ず同じ場所に置き、分かりやすくする。	・声かけでなく自主的に行動できるよう視覚的に伝えられるようにしたり、構造化をしていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	5			・毎日の掃除消毒を行っている。	・清潔に保てるように整理整頓を心がけていきます。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	1		・支援者によってばらつきがある。行うためにtodoリストの活用をする。	・業務の分担など協力して行えるようにしていきます。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者などに対して事業所の評価を実施すると共に、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			・アンケート等を行う。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所等の開放やホームページ等で公開しているか	4	1		・評価アンケートを実施している。	・事業所評価結果をホームページに掲載する前に職員にも提示して結果を周知します。
	⑧	第三者による外部評価を行い、結果評価を業務改善につなげているか	1	1	2	・現在、第三者による評価を行っていない。	・今後検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5			・勉強会や研修で学ぶ機会がある。	・研修の機会はあるが、参加が難しいことがあるので検討していきます。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で個別支援計画を作成しているか	5			・子どもたちの日々の様子を観察し、保護者の小困り感を理解し作成する。	・担当制にはしているが、職員同士での情報交換も織り交ぜて支援計画を作成していきます。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを活用しているか	5			・計画の下、支援を行う。	
	⑫	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	5			・ガイドラインへの理解を深め支援に活かしていく。	
	⑬	個別支援計画に沿った支援が行われているか	5			・職員間で利用児の様子を共有し、支援を行う。	・毎月の目標を話す時間を確保し周知していきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5			・月毎に担当職員を決め、療育の運動内容を定める。	・全職員で話し合いすることでより良いプログラムにしていきます。
適切な支援の提供	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	5			・長期休み、祝日にイベント等を行う。	・今後も職員一人一人のアイデアが生かされたプログラムにしていきます。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	5			・SSTカルタ導入、集団活動(運動)、視覚的トレーニング等の個々の活動がある。	・今後も個別に対応していきます。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1		・朝礼や申し送りノートの活用、打ち合わせや情報共有を行う。 ・送迎で事業所戻りが退勤近いこともあり翌日の朝礼で行っている。 ・日々の利用者の側に誰が付くのかを気付いた職員が対応するので偏りが出来てしまう。	・今後も子どもの確認、対応について詳しく話し合いをしていきます。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	3		・送迎が遅くなり、なかなか出来ないことがあるので翌日や職員会議で行ってきたい。 ・支援の直後ではないが会議等で話し合う。	・個の特性に応じた支援ができるように配置を検討していきます。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5			・日々記録を入力している。	・情報共有を行い次回の支援に役立たせるようにしていきます。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5			・年に2回のモニタリングの実施。	・全職員がわかるようにモニタリングでの変更の有無を伝えていきます。

関係機関や保護者との連携・関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5			・事業所の管理者が行う。	・今後も担当者会議の内容を記録し情報共有していきます。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援などの関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	5			・相談支援事業所との連携を行う。	・今後も関係機関と連携を図り情報を伝えていきます。
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	1	2	2	・該当児なし	
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	1	2	2	・該当児なし	
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	1		・引継ぎの際等に情報共有する。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	2		・引継ぎの際等に担当者会議等で情報共有する。	・保護者様と連携して引継ぎを行っていきます。
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4				・研修を受けた場合は研修報告書を記入し、情報共有をしていきます。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか		1	4	・送迎時に少し関わることがあるが共に活動を行うことが無いのでキッカケを作りたい。	・今後検討をしていきます。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	2	1	2		・今後検討をしていきます。
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	2			・送迎の際に様子を共有する。	・今後も保護者様と情報共有し、職員間でも伝えるようにしていきます。
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	2	1	・該当家族無く実施していない。	・ペアトレの研修に参加するなど職員の意識向上を図っていきます。
保護者への説明責任等	㉜	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧に説明を行っているか	5			・契約時に管理者が行っている。	・全職員と契約時の内容を共有していきます。
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	5			・契約時に管理者が行っている。	・今後も保護者様に丁寧に説明をしていきます。
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			・相談を受けた際に管理者からの一本化の対応を行っている。	・今後も保護者様の相談には丁寧に対応していきます。
	㉟	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	1	2	・コロナ禍の影響があり、なかなか行うことが出来なかった。	・開催して欲しいという声があれば今後慎重に検討していきます。
	㊱	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			・職員間で情報共有を図っている。	・保護者様からの相談案件は職員にも情報共有して、苦情の場合は再発防止に努めています。
	㊲	定期的にお便り等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	3	2		・SNSにてイベント等の発信を行っている。	・今後も継続して取り組んでいきます。
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意しているか	5			・外部に持ち出さない。 ・SNSに投稿する際には顔出し可能な児童を確認している。	・今後も継続して取り組んでいきます。
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			・気持ちを汲み取り、場合によって手話等を行うようにしている。	・丁寧なかかわりに心がけていきます。
	㊵	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	1	2	・地域のイベントに事業所として参加、地域交流の場を作っていく。	・今後慎重に進めていきます。
非常	㊶	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	5			・マニュアルの共有。 ・年4回の避難訓練実施。	・保護者様に聞かれた際に対応できるようにしていきます。 ・マニュアルを確認する時間を確保します。
	㊷	非常災害の発生に備え、定期的に避難・救出その他必要な訓練を行っているか	5			・年4回の避難訓練実施。	・年間計画を作成し、担当を決めて実施していきます。
	㊸	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	3	1		・服薬管理該当児無し。 ・てんかん該当児は医師の対応指示書あり。	・服薬の変更など保護者様からの情報を共有していきます。

… 時 等 の 対 応	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3	1	1	・アレルギー該当児は自宅からおやつ持参してきてもらっている。	・今後も十分に気を付けて対応していきます。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5			・月1の職員会議にて振り返りを行っている。	・小さなことでもヒヤリとしたことは報告していきます。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5			・会社全体で研修を実施している。	・虐待防止の研修会等に参加し意識を高めていきます。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	5			・契約時に管理者が説明を行っている。	・契約書、個人支援計画に記載があることを職員に伝えどのような時に行動制限になるのかを確認・共有していきます。